



基本的な考え方

コニカミノルタは、事業活動にともなう環境負荷の低減や環境保全活動にグループ全体で取り組んでいます。その活動の計画や進捗状況について、積極的に情報発信を行い、さまざまなステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図ることで、良き企業市民としての責任を果たしていきたいと考えています。

情報公開にあたっては透明性と継続性を基本として、CSRレポートやウェブサイトなどの各種媒体を通じた情報発信を行っています。また、お客様に製品の環境性能をお伝えするために、環境ラベルなどによる情報開示にも注力しています。また、地域の皆様と直接対話する場を定期的に設けるとともに、さまざまな社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

情報公開

環境報告書の発行

レポートやウェブサイトなどを通じて環境情報を報告しています。

コニカミノルタグループ全体の環境活動の報告書として、CSRレポートとウェブ版環境報告書を制作しています。また、日本の各拠点の環境情報については、拠点ごとに発行するサイトレポートでご紹介しています。

それぞれ年一回更新しており、PDFデータは環境ウェブサイトからダウンロードいただけます。



CSRレポート2010



環境報告書2010



CSRサイト(環境への取り組み)

サイトレポートの発行

日本の各事業所では、環境情報などを掲載した「サイトレポート」を毎年発行しています。

環境負荷概要、環境保全活動、安全衛生・防災活動や地域との交流活動などについて地域の皆様に報告するとともに、目標、実行計画の策定や見直しにも活用しています。



サイトレポート



情報公開

製品環境情報の提供

環境ラベルなどで積極的に製品情報を開示しています。

Type I 環境ラベル

コニカミノルタでは、環境負荷の少ない製品であることを第三者の審査機関が認めた証となる「Type I」環境ラベルの取得を積極的に推進しています。

●ブルーエンジェルマーク

1978年、ドイツで導入された世界初の環境ラベルで、環境負荷の少ない製品・サービスを対象としています。コニカミノルタでは、1992年1月に複写機分野で世界初の認証を受けて以来、改訂ごとに基準をクリアして認証を取得しています。



●エコマーク

(財)日本環境協会によって1989年に制定された、日本の代表的な環境ラベルです。コニカミノルタでは、オフィス向けの情報機器製品では基本的に取得する方針としています。



●エコロゴ

1988年にカナダ政府によって設立された北米で最も権威のある環境基準・認証マークです。コニカミノルタは、2009年に新設されたオフィス機器分野において、デジタル複合機12機種について、他社に先駆けて認証を取得しました。



国際エネルギースタープログラム

オフィス機器を対象とした省エネルギー制度で、基準を満たした製品が登録できます。日米両政府合意のもと1995年から実施されており、現在では、EU、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、台湾なども参加しています。

コニカミノルタのオフィス向けの情報機器製品は、すべてその基準に適合しています。



エコリーフ環境ラベル

「Type III」環境ラベルとは、原材料の調達から生産、販売、使用、廃棄・リサイクルまで、製品ライフサイクル全体の環境負荷を定量的に把握し、公開する環境ラベルです。

コニカミノルタは、Type III環境ラベルである「エコリーフ」によって、情報機器製品の環境負荷データを開示しています。

また、エコリーフには、環境負荷データを適切・有効に把握する仕組みをもつことを第三者機関が認定する「システム認定制度」があり、コニカミノルタは、複写機事業とプリンター事業で認定を取得しています。



グリーン購入ネットワーク登録製品

コニカミノルタは、グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク(GPN)*のガイドラインに対応した製品をGPNのデータベース「エコ商品ねっと」に登録して、その情報を公開しています。

* グリーン購入ネットワーク(GPN)：グリーン購入の取り組みを促進するために1996年2月に設立された企業・行政・消費者のネットワーク。

MSDS (Material Safety Data Sheet) 製品安全データシート

化学製品を安全にお取り扱いいただくために、製品に含まれる物質やお取り扱い上の注意点を記載した資料を作成、公開しています。

AIS (Article Information Sheet) 製品環境安全情報シート

MSDSの対象外である写真フィルムなどの製品(Article)を安全にお取り扱いいただくために、製品に含まれる物質やお取扱い上の注意点を記載した資料を作成、公開しています。



地域・社会とのコミュニケーション

展示会への出展

事例1：エコプロダクツ展に継続して出展(日本)

東京ビッグサイトで毎年開催される日本最大の環境展示会「エコプロダクツ展」に、1999年度から継続して参加しています。

2009年12月に開催された「エコプロダクツ2009」では、デジタルカラー複合機などの製品ライフサイクルでの環境配慮についての紹介、コニカミノルタ環境ウェブサイト掲載中の希少動物ペーパークラフトのジオラマ、さらに、デジタルプラネタリウムでの地球環境保全を訴える番組上映などを通じて、コニカミノルタの環境への取り組みを紹介しました。



「エコプロダクツ2009」の出展ブース



事例2：「環境への責任」をテーマとした展示・商談会を開催(フランス)

フランスの情報機器販売会社であるコニカミノルタビジネスソリューションズフランス社は2010年2月、恒例の展示・商談会を「環境への責任」をテーマとして掲げて開催しました。セーヌ河畔につないだ船を会場として設置したブース内には古紙を利用した簡易テーブルを置くなど、環境への意識を高める工夫を盛り込むとともに、コニカミノルタの環境への取り組みや製品の環境性能などについて説明しました。

また、新たな試みとして、お取引先であるリサイクル・再生紙関連のパートナー企業や、同社が活動に協賛している森林協会などにも、個別にブースを出展いただきました。

パートナー企業の活動を紹介することで、コニカミノルタの取り組む環境活動を、お客様により深くご理解いただく機会となりました。



環境社会貢献活動

コニカミノルタは、「企業市民」として社会からの共感、信頼をいただけることを目指して、より良い社会づくりに貢献するさまざまな活動に取り組んでいます。

事例：現地コミュニティとともに、環境教育プログラムを実施(英国)

英国の情報機器販売会社であるコニカミノルタビジネスソリューションズ(UK)社は、現地コミュニティの協力のもと、子どもたちの環境意識を高める教育プログラムを実施しています。このプログラムは、3R(リデュース、リユース、リサイクル)によるゴミの減量の重要性などについて理解を深め、環境保全に役立つ行動が選択できることを目指すものです。2009年度は小学校20校を対象に、1カ月に4回の90分授業を行うカリキュラムで実施しました。

こうした取り組みに対し、同社は2009年11月、「グリーンアップル賞」を受賞しました。

この賞は、世界的な非営利環境団体「グリーン機構」が環境取り組みの優良事例を表彰するものです。なお、同社は2010年度にはさらに30校でこのプログラムの実施を計画しています。

